５２１５９-ＴＺＡ１０-０１
取り付け/取扱説明書

トムス　CT２００ｈ　リヤアンダースポイラー

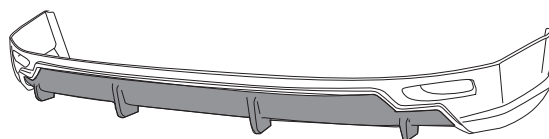
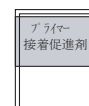
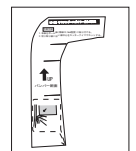
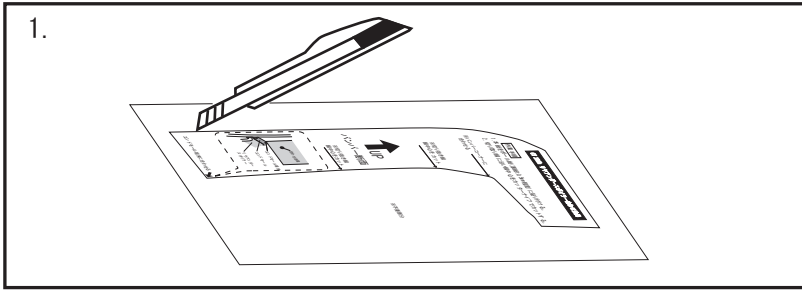
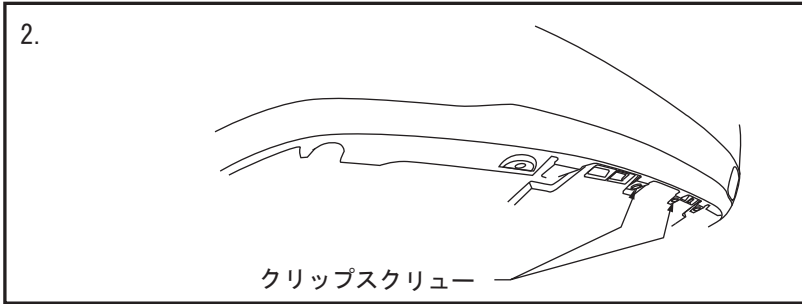
このたびは､トムス リヤアンダースポイラー以下リヤアンダースポイラー）をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
本製品の取り付け方法を以下に記します。正しい取り付けをお願いいたします。本取り付け説明書は、「自動車整備技能検定3級合格者」程度の方を対象に記述してあります。用語等で不明な点は、整備解説書等をご参照してください。なお、取り付け等に関するお問い合わせは、弊社技術までお問い合わせください。
本製品の内容及び付属品は、改良のため予告無く変更することがありますのでご了承ください。

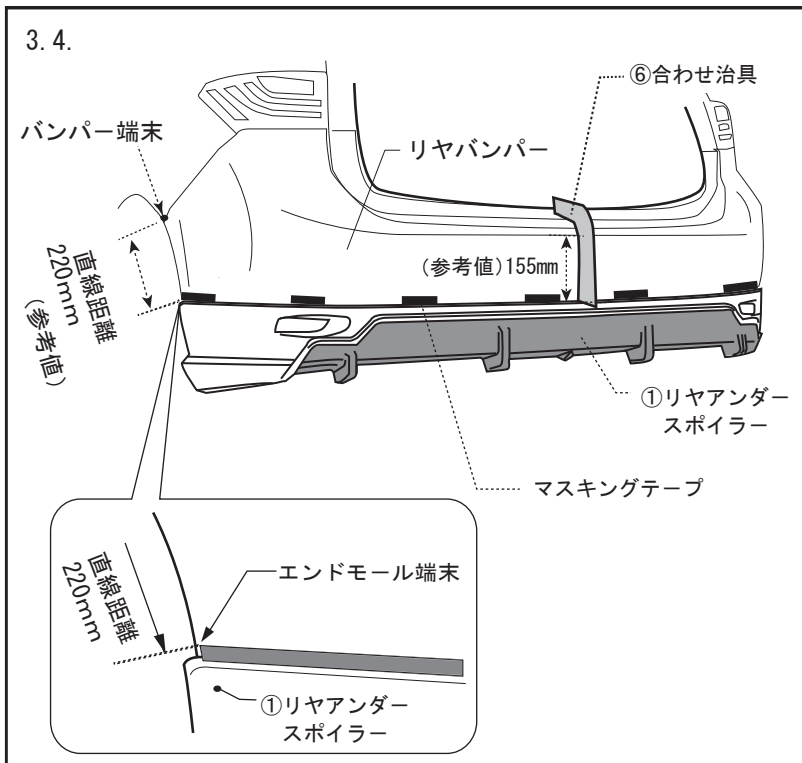
適応車種　本製品は以下の車種に対応しています。（2011年4月現在）

適応車種
レクサス　CT200ｈ（ＺＷＡ１０）　平成２２年１２月～ ※除く　エアロバンパー（メーカーオプション）装着車

取り付け上のご注意　以下の注意を必ず守るようお願いいたします。

１．リヤアンダースポイラー取り付け作業は、必ず作業者２人で行ってください。
２．リヤアンダースポイラー脱落防止のため、両面テープは確実に圧着し、取り付けボルト等はしっかり締めてください。また、走行前にゆるみがないかチェックしてください。
警告　リヤアンダースポイラーが脱落した場合は、重大事故につながる恐れがあります。
３．車両をジャッキアップする際は、必ずリジットラック等で車両を固定してください。
４．塗装に際しては以下の点にご注意ください。
（詳しくは「リヤアンダースポイラー素地品の塗装手順」を参照の事）
⇒塗装乾燥の加熱温度は60度以下で行ってください。＊60度以上の加熱は製品変形の恐れがあります。
５．ビス取り付けの際は手締めを行ってください。電動ドライバー等を使用しますと部品を破損する恐れがあります。
６．両面テープの接着力促進剤として、必ずプライマーを塗布してください。
（詳しくは「３Ｍ　ＰＡＣプライマーＮ-２００　取扱説明書」を参照の事）
ボディーコート塗布車両は、プライマーの接着力促進効果を発揮できない場合があります。プライマー塗布面のボディーコートは塗装用コンパウンド(細目以上)で剥離し、アルコール等で拭き取り除去してください。
７．両面テープの接着力は、気温が１５℃以下になると低下します。両面テープ及び接着面を加熱器等で温めてから貼り付けを行ってください。
８．両面テープの接着力低下防止のため、本製品の装着直後（２４時間以内を目安）の洗車は行わないでください。
両面テープの貼り直しをすると、接着力が極端に低下するため、貼り直しは行わないでください。
９．純正用品及び他社製品との同時装着はできません。
10. リヤアンダースポイラー装着により、標準バンパーより、全長が、２５mm長くなり地上高が７mm低くなります。
11. 本製品は車両登録後の取り付けを前提としています。登録前に取り付けをする場合は持ち込み登録となります。
12. 塗装済み品につきましては使用している材料の違い等により車両本体の色と完全に一致しない場合があります。

構成部品　本製品は以下のパーツで構成されています。欠品や破損等が無いことをご確認ください。

①リヤアンダースポイラー ×１ヶ
②４mmタッピングスクリュー ×4ヶ
③ゴムスペーサー 3mm×4ヶ
④ゴムスペーサー 5mm×4ヶ
⑤プライマー×1ヶ
⑥合わせ治具×1ヶ

取付手順

1. ⑥合わせ治具をボール紙(厚紙t0.5mm程度)に貼り付け、切り取り線に沿って線中心をカッターナイフ等でカットする。

2. バンパー下側のクリップスクリューを２本外す。（左図参照）

詳細は整備解説書を参照する。

3. ①リヤアンダースポイラーをバンパーにあてがい⑥合わせ治具を使用し高さ位置を決め、クリップスクリューを再使用し下側２ヶ所仮止めをする。（左図寸法参照）

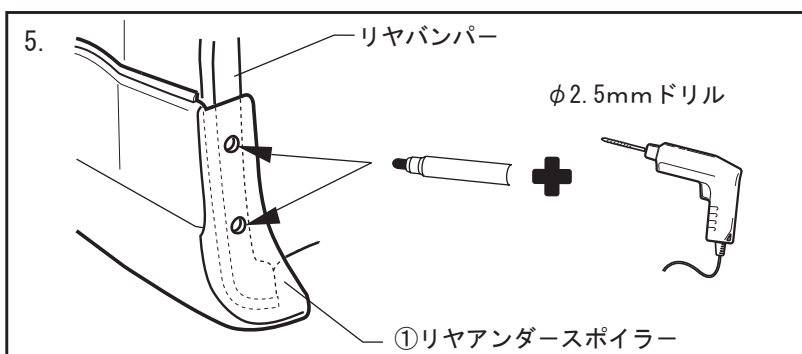
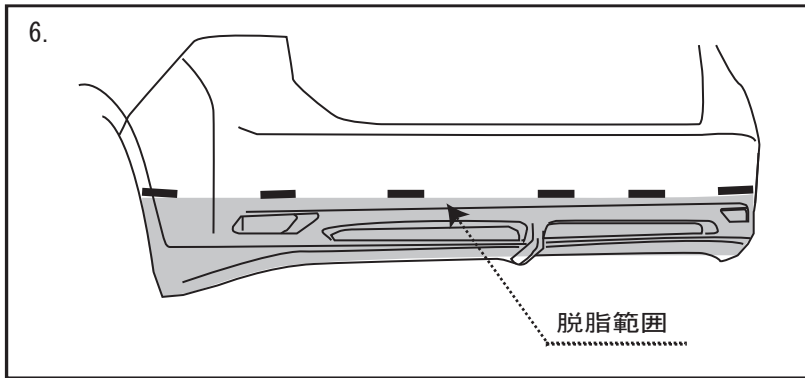
アドバイス

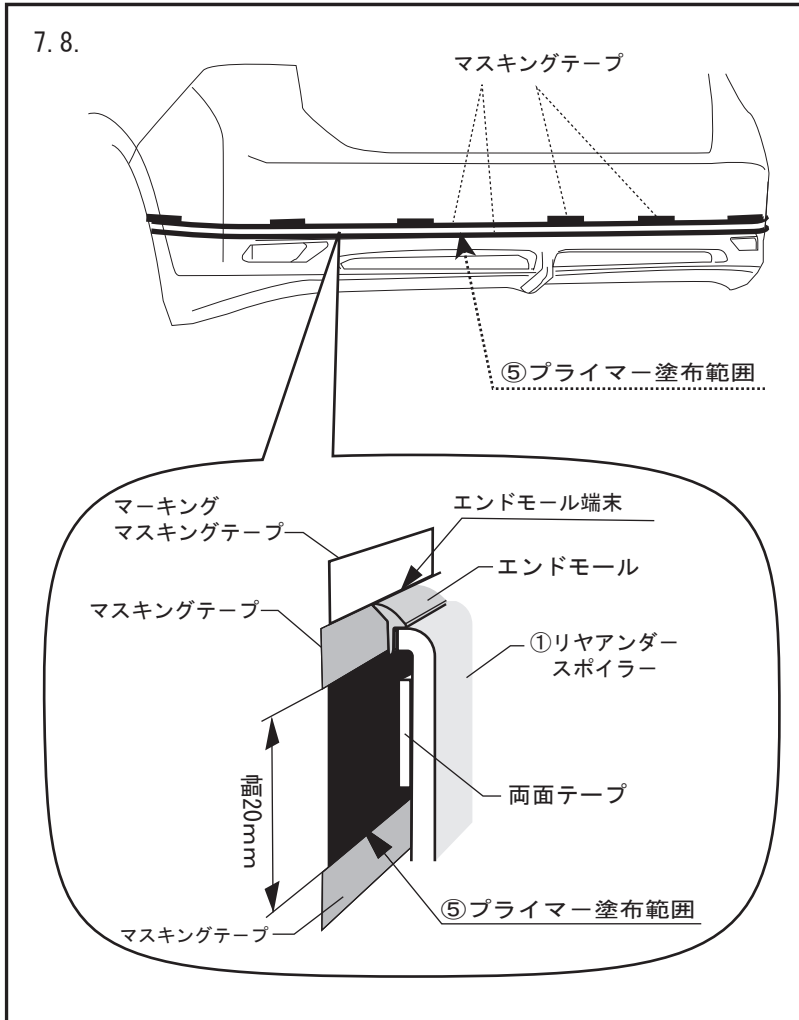
ガムテープ等でスポイラーを固定すると作業が容易になる。

4. ①リヤアンダースポイラー全体が下がらないように取り付け位置を確認しタッチ面アウトラインをマスキングテープでマーキングする。

左図の指示寸法部の位置を左右確認する。

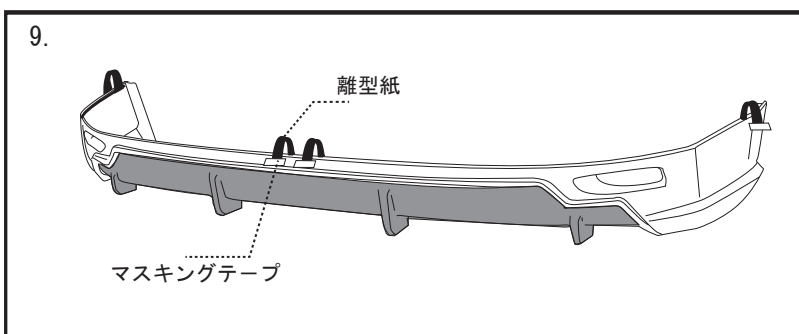
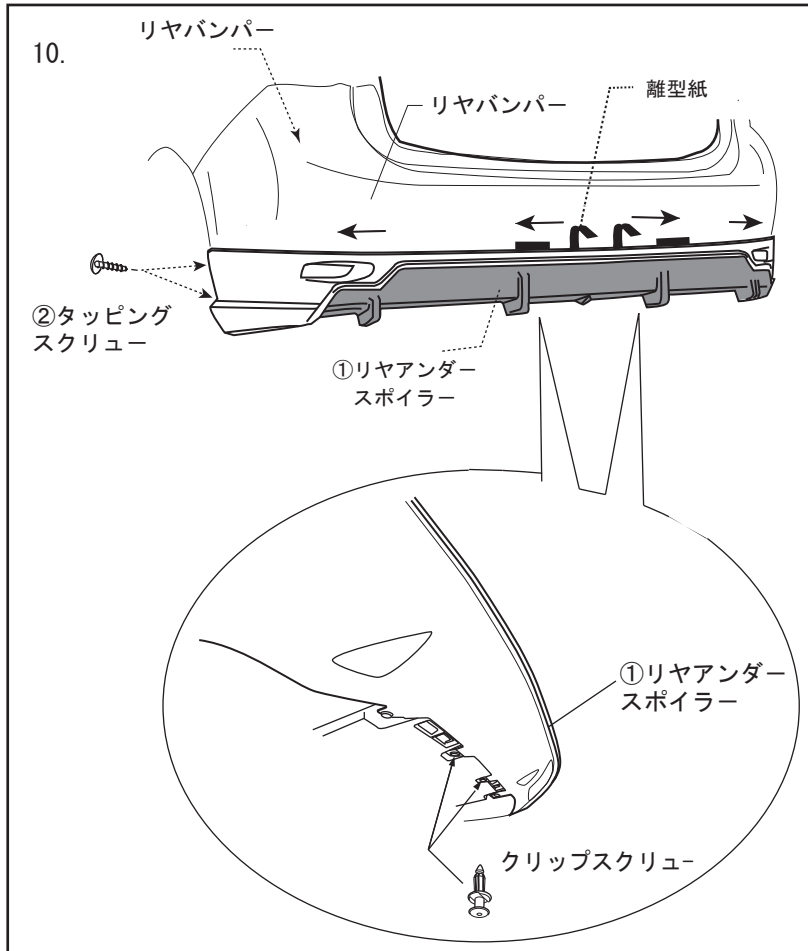
マーキングが正しく行なわれないと、リヤアンダースポイラーが正しい位置に取り付けられず脱落の原因となる。

リヤアンダースポイラーのエンドモールとバンパーの間に隙間が発生する場合の多くは、リヤアンダースポイラー位置に原因があります。スポイラーを約５mm範囲内で上下の位置、左右の位置を調整する。

5. 取り付け位置に合わせて、穴位置をマーキングし､スポイラーを一度はずしてφ2.5mmの穴を２ヵ所あける。（左図参照）

6. リヤバンパーのゴミ、ホコリをウエスで除き脱脂処理を行う。（左図参照）

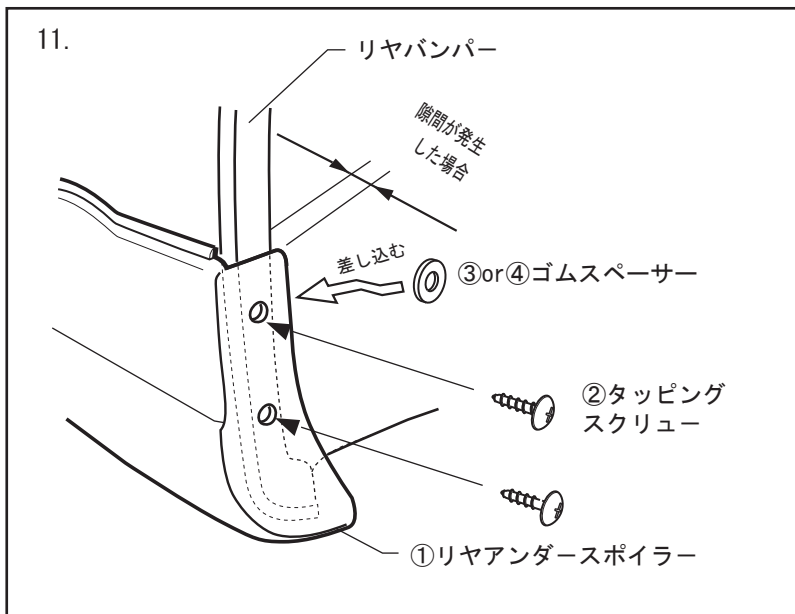
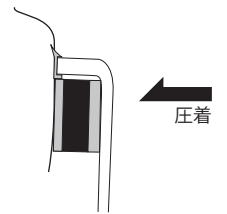
脂分の付着は、両面テープの接着力が低下するため、接着面の脱脂処理は十分に行う。

7. ①リヤアンダースポイラーの両面テープ貼り付け位置を確認し、⑤プライマー塗布範囲をマスキングテープでマスキングする。
（左図参照）

塗布範囲は、エンドモール端末からのはみだしがないように気を付けて作業を行う。

8. ⑤プライマーをマスキングテープに沿って塗布し、標準状態で１０分以上放置し、十分に乾燥させる。

プライマー使用に際しては、３Ｍ　ＰＡＣプライマーＮ２００取扱説明書に従い使用する。
乾燥の標準状態：２３℃で１０分～３時間
ほこり、汚れ、水滴が付着しないようにし、十分に乾燥させる。
気温１５℃以下では、加熱器を使用し温める。
塗装面を黄変させる為、はみだしたプライマーはアルコール等で拭き取る。

9. ①リヤアンダースポイラーの両面テープ離型紙を５０mm程剥し、リヤアンダースポイラー表面側に折り返し、マスキングテープで貼り付ける。

10. ①リヤアンダースポイラーをバンパーにあてがい、下面部に純正クリップスクリュー2ヶ所フェンダーアーチ部には②タッピングスクリュー左右2ヶ所づつ、仮止めをする。
車両中央からタイヤ側に向かってテープ離型紙を引き抜きながら圧着する。
（左図参照）

両面テープの貼り直しをすると、接着力が極端に低下するため、ボディーに付かない様に気を付けて作業を行う。

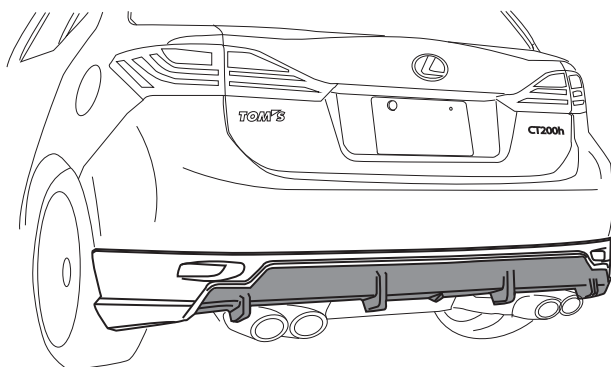
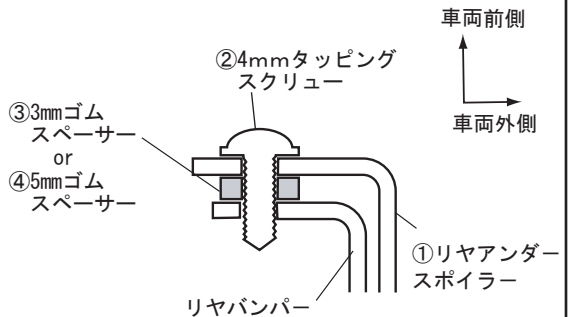
両面テープの圧着は、車両が少しゆれる程度〔49N(5kgf/㎠)〕で行なう。

11. フェンダーアーチ部の②4mmタッピングスクリューを増し締めする。

注意

フェンダーアーチ部のタッピングスクリューを締めすぎると、破損、変形の原因となります。また、圧着された両面テープに隙間を発生させる原因となる恐れがあります。

アドバイス

リヤアンダースポイラーの増し締め作業の際にフェンダーアーチ部に隙間が発生する場合は、③④ゴムスペーサーのうち適したものを挟み込んで取り付ける。

取付断面図

（お問い合わせ先）
㈱トムス
TEL 03-3704-6191
月～金 ＡＭ9：00～ＰＭ5：00

リヤアンダースポイラー素地品の塗装手順

※素地品は塗装の前に、必ず仮取り付けをし、各部に不具合がないか確認してください。
　塗装後のクレームには応じません。

構成部品

①リヤアンダースポイラー ×１ヶ

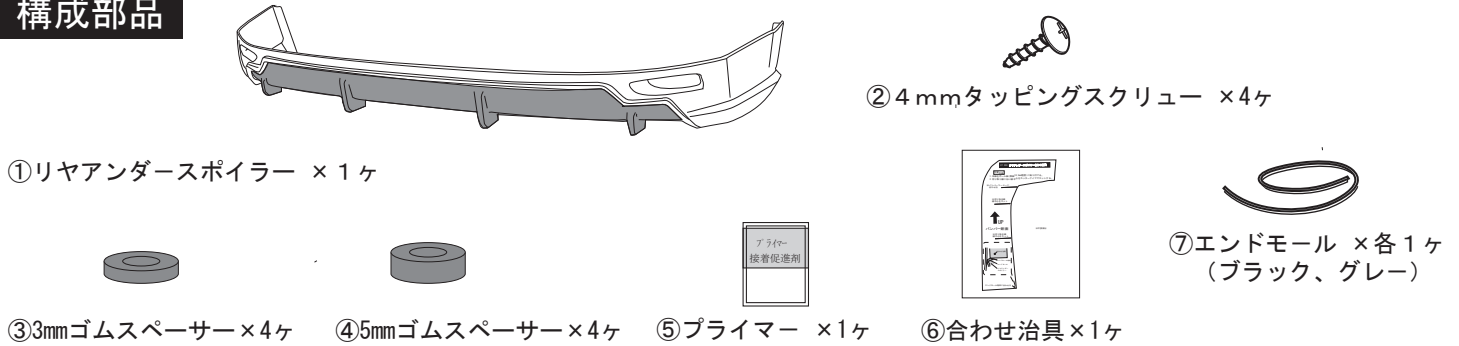
②４mmタッピングスクリュー ×4ヶ

③3㎜ゴムスペーサー×4ヶ

④5㎜ゴムスペーサー×4ヶ

⑤プライマー ×1ヶ

⑥合わせ治具×1ヶ

⑦エンドモール ×各１ヶ
（ブラック、グレー）

Ⅰ塗装作業手順

1. 塗装面の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで取り除き、必ず脱脂をする。
2. サフェーサー処理を行う。
3. スポイラー中央下部を半艶黒色で塗り分け塗装を行う。塗りわけ部分は下図参照。
塗装乾燥の加熱温度は60度以下で行なう。

本製品はＡＢＳ樹脂製のため適切な塗料を使用する。

60度以上の加熱は製品変形の恐れがある。

モール、両面テープの貼り付け作業

1. 塗装終了後、モールを貼り付ける部分を脱脂し、
⑤プライマーを塗布する。（下図参照）

プライマーが塗装面に付着すると、塗装を傷める為はみ出し等に気を付けて作業する。

断面拡大

2. 下図の要領で⑦エンドモールの離型紙を剥がしながら貼り付ける。

モールの圧着の際は、49N（5kgf/㎠）以上で圧着する。